

注意!

梅毒報告数が増えています!

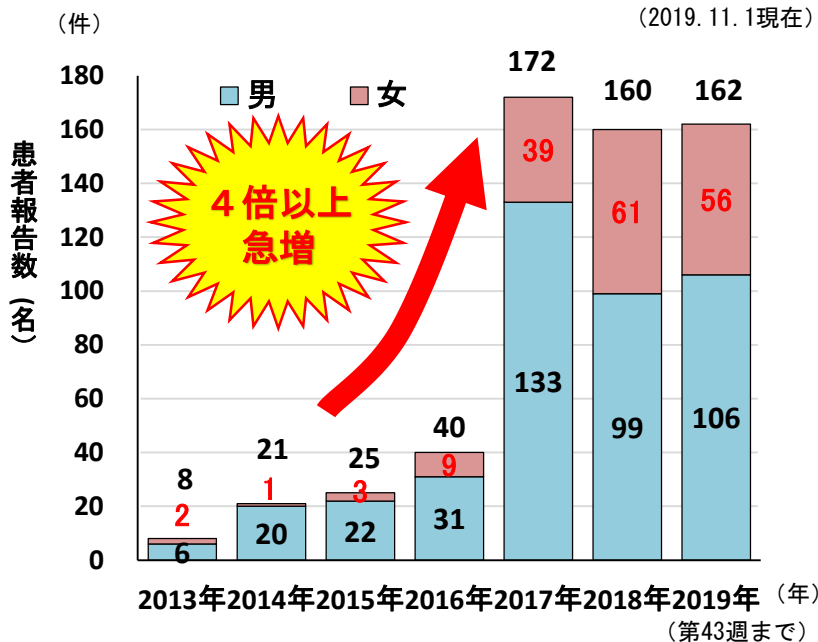


© 岡山県「もっち」

全国的に梅毒の報告数が増えており、岡山県でも2016年から急増しています。
特に、若い女性の間で感染者が増えています。
人口100万人あたりの報告数は、岡山県は2018年は全国ワースト3位でした。

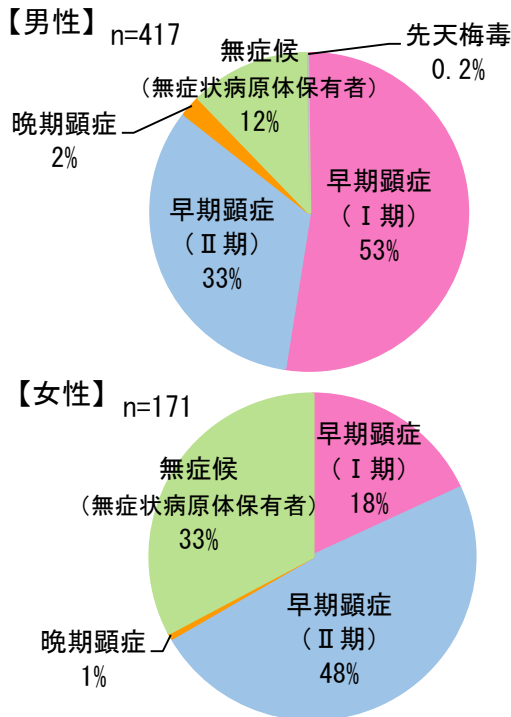
岡山県の年次別梅毒発生状況

(2019. 11. 1現在)



資料：感染症発生動向調査 2019年の報告数は43週まで（速報値）

岡山県 梅毒病型別累計割合 (2013年~2019年第43週)



男性は、早期顕症（I期）（感染部位のしこり、股の付け根の部分のリンパ節の腫れ）で診断されることが多く、女性は、早期顕症（II期）（全身に発疹）で発見されることが多いです。

(参考) 梅毒の症状

梅毒は、全身に現れるあまりにも多彩な症状から、「偽装の達人」と呼ばれています。診断の際の参考にしてください。（写真出典：日本性感染症学会ホームページ）



「梅毒診療ガイド」

(日本性感染症学会ホームページ)

URL : http://jssti.umin.jp/news_syphilis-medical_guide.html



QRコードはこちら♪

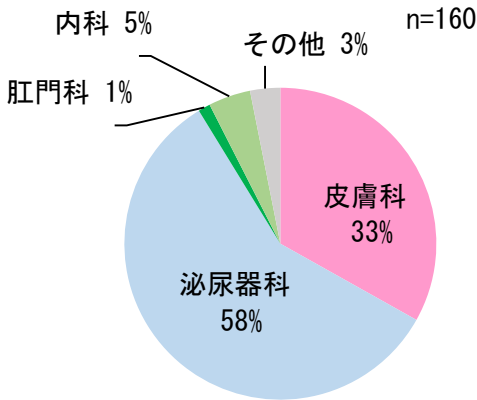
岡山県の聞き取り調査結果です。 (2018年1月～2019年6月 245例)



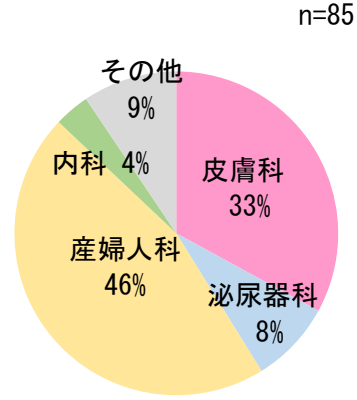
©岡山県「うらっち」

梅毒の届出時の診療科は、男性は泌尿器科、女性は産婦人科が多く、男女とも皮膚科の受診が多いことがわかりました。また、その他の診療科としては、耳鼻咽喉科、総合診療内科、神経内科等がありました。

梅毒届出時の診療科 (男)

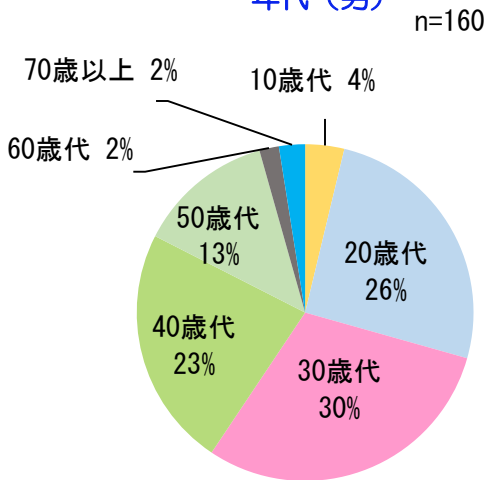


梅毒届出時の診療科 (女)

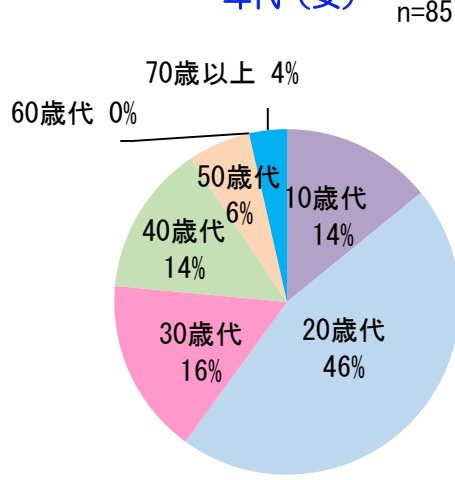


年代は男女ともに20～30歳代が多く、女性は20歳代が半数を占めていました。

年代 (男)

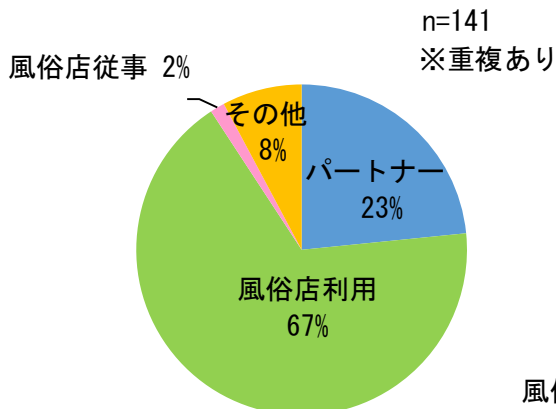


年代 (女)

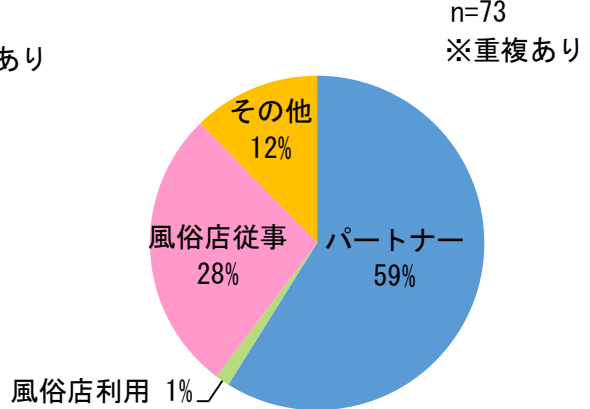


男女とも性的接触による感染が多く、性的接触の状況は、男性は風俗店利用、女性はパートナーが多いことがわかりました。

性的接触 (男)



性的接触 (女)



その他の結果は「岡山県ホームページ」をご覧ください。
URL : <http://www.pref.okayama.jp/page/detail-7842.html>

